

工学部の時間割作成

★以下の手順により、自身の時間割を作成してください。

★工学部別表（単位数計算表）の前期・後期の欄に履修する単位を記入し、卒業に必要な単位を満たしているか確認してください。

★工学部では、十分な学習時間を確保することなどを目的として、学期ごとに履修登録できる科目の上限を定めるCAP制を導入しています。1学期に履修登録できる科目の上限単位数は30単位です。詳細は「工学部学生便覧」（5頁）で確認してください。

◎高分子・有機材料工学科，化学・バイオ工学科，情報・エレクトロニクス学科，機械システム工学科

1. 基盤共通教育授業時間割の左頁の工学部欄を確認し次の科目を時間割作成用紙に記入してください。

① 必修の『導入科目』『スタートアップセミナー』を記入。

② 必要な『共通科目』の外国語科目（「コミュニケーション・スキル1」及び「スキル2」）を選択。

○スキル1（英語1）：4単位必修

総合英語，コミュニケーション英語それぞれ2単位，合計4単位を記入。

前期，後期とも週1回ずつ開講される総合英語及びコミュニケーション英語は，授業クラスの指定があるので，掲示で確認が必要。

○スキル2（初修外国語）：選択科目

ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語及び韓国語の中から，1つの外国語を前期と後期を合わせ4単位まで選択し，履修することができます。（授業は必ず週2回ペアとなっている科目を履修。週2回の履修により，半期で2単位修得できます。ただし，後期からの履修はできません。）

③ 必修の『共通科目』『情報処理』を記入。授業クラスの指定あり。

なお，1年次のうちに2単位修得しておくのが，望ましい。

④ 学部の説明・指導に従い，1年次に開講される「専門教育科目」（黄色/点線枠内）の授業を記入。2年次に進級するためには「専門教育科目」を修得することが（1年次開講で，各学科が必修科目に指定する単位を含む）必要。

専門教育科目も基盤共通教育科目と同様にWEBで履修登録が必要。

2. 基盤共通教育授業時間割の右頁を確認し，次の科目を時間割作成用紙の空いている曜日・校時に記入してください。

① 必修の『基幹科目』の2領域（「人間を考える・共生を考える」，「山形から考える」）から1科目ずつ選択して記入。

② 『教養科目』

『共通科目』の「健康・スポーツ（時間割左頁のスポーツ実技含む）」

『共通科目』の「サイエンス・スキル」

『共通科目』の「キャリアデザイン」

『共通科目』の「情報科学」

合計 22 単位以上

※ただし，『教養科目』の「文化と社会」及び共通科目の「キャリアデザイン」から8単位以上。（「文化と社会」の「社会と倫理」必修科目2単位は含まない。）

③ 「教養科目」の「自然と科学」及び「共通科目」の「サイエンス・スキル」から6単位以上。『共通科目』の「サイエンス・スキル」のうち，前期の「微分積分学Ⅰ（数理科学）」（2単位）及び後期の「微分積分学Ⅱ（数理科学）」（2単位）を記入。（必修）

④ 高分子・有機材料工学科，情報エレクトロニクス学科は，『共通科目』の「サイエンス・スキル」のうち，「力学の基礎（物理学）」の履修が推奨されています。

⑤ 機械システム工学科は，『共通科目』の「サイエンス・スキル」のうち，「力学の基礎（物理学）」及び『導入科目』の「学部導入セミナー」の履修が推奨されています。

⑥ 以下の3.に記載されている①～③で記入した科目の単位も，当該領域の単位として含めることになります。

⑦ 記入した前期，後期の時間割作成用紙を再度確認し，進級条件はもとより，卒業要件を満たすように履修計画を立てることが望まれます。

3. 教育職員免許状を取得したいと思っている場合には，次の科目を記入。

① 時間割右頁の『教養科目』の「文化と社会」中の「日本国憲法」 2単位

② 時間割左頁の「スポーツ実技」及び右頁の「健康・スポーツ科学」領域各1単位以上又は「スポーツセミナー」2単位（いずれも「共通科目」）の科目 計2単位以上
（「健康・スポーツ科学」2単位のみや「スポーツ実技」2単位のみでは取得できません。）

③ 時間割左頁の『共通科目』の「情報科学（情報処理）」 2単位

4. 記入した時間割作成用紙を確認します。

① 上記の内容を満たしているか確認してください。

② 重複履修制限について，履修の可否を確認してください。（「4.3履修上の注意事項」22頁・23頁参照）

③ 進級条件（18頁参照）を満たしているか，確認してください。

④ 総単位数が30単位を超えていないか，確認してください。（「工学部学生便覧」参照）

工学部(高分子・有機材料工学科, 化学・バイオ工学科, 情報・エレクトロニクス学科, 機械システム工学科) 別表 (単位数計算表)

区分		分野名	進級に必要な 最低修得単位数	卒業に必要な 最低修得単位数	卒業要件単位数を超えた 単位の取扱い	履修予定単位数	
科目	領域					前期	後期
導入科目	スタートアップセミナー	スタートアップセミナー 学部導入セミナー	2単位 (必修) ◎	2単位 (必修)			
基幹科目	人間を考える・ 共生を考える	人間を考える	2単位 (必修)	2単位 (必修)			
		共生を考える					
	山形から考える	山形から考える	2単位 (必修)	2単位 (必修)			
教養科目	文化と社会	社会と倫理※	14単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上 △のサイエンス・スキル中、「微分積分学Ⅰ(数理学)」又は「微分積分学Ⅱ(数理学)」から2単位以上必要 機械システム工学科は「導入科目」の「学部導入セミナー」(◎印)を含めることができる。	20単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上 △のサイエンス・スキル中、「微分積分学Ⅰ(数理学)」「微分積分学Ⅱ(数理学)」(各2単位)合計4単位必要 機械システム工学科は「導入科目」の「学部導入セミナー」(◎印)を含めることができる。	①②③のうち、最大6単位まで専門教育科目の選択科目として卒業要件に数えることができる。		
		哲学					
		心理学					
		歴史学					
		文学					
		芸術					
		言語学					
		文化論					
		法学					
		経済学					
		社会学					
		政治学					
		地理学					
		知的財産※					
日本国憲法							
共通科目	キャリアデザイン	キャリアデザイン キャリア教育※					
教養科目	自然と科学	数理学	△				
		物理学					
		化学					
		生物科学					
共通科目	サイエンス・スキル	地球科学					
		物理学					
		化学					
		生物科学					
共通科目	サイエンス・スキル	地球科学					
		医学					
		工学					
		農学					
教養科目	応用と学際	応用 学際					
共通科目	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学					
		スポーツ実技					
		スポーツセミナー					
	コミュニケーション・スキル1	英語1	2単位 (必修)	4単位 (必修)	①英語2:卒業要件(2単位)を超過して修得した単位の超過分4単位まで ②英語3:2単位まで		
		英語2※		2単位 (必修)			
	コミュニケーション・スキル2	英語3※			③1カ国語4単位まで		
		ドイツ語					
		フランス語					
		ロシア語					
		中国語					
情報科学	韓国語						
	日本語	(留学生のみ受講可)	(留学生のみ受講可)				
情報科学	情報処理		2単位 (必修)				
探究科目	詳細は各学部の定めるところによる。						
補習科目	詳細は各学部の定めるところによる。						
※印は高学年次開講科目							
推奨科目	高分子・有機材料工学科, 情報・エレクトロニクス学科:『共通科目』の「サイエンス・スキル」の「力学の基礎(物理学)」 機械システム工学科:『共通科目』の「サイエンス・スキル」の「力学の基礎(物理学)」及び『導入科目』の「学部導入セミナー」						
専門教育科目	詳細は各学部の定めるところによる。						

◎建築・デザイン学科

1. 基盤共通教育授業時間割の左頁の工学部欄を確認し次の科目を時間割作成用紙に記入してください。

- ① 必修の『導入科目』「スタートアップセミナー」を記入。
- ② 必要な『共通科目』の外国語科目（「コミュニケーション・スキル1」及び「スキル2」）を選択。
 - スキル1（英語1）：4単位必修
総合英語，*コミュニカティブ*英語それぞれ2単位，合計4単位を記入。
前期，後期とも週1回ずつ開講される総合英語及び*コミュニカティブ*英語は，授業クラスの指定があるので，掲示で確認が必要。
 - スキル2（初修外国語）：選択科目
ドイツ語，フランス語，ロシア語，中国語及び韓国語の中から，1つの外国語を前期と後期を合わせ4単位まで選択し，履修することができます。（授業は必ず週2回ペアとなっている科目を履修。週2回の履修により，半期で2単位修得できます。ただし，後期からの履修はできません。）
- ③ 必修の『共通科目』「情報処理」を記入。授業クラスの指定あり。
なお，1年次のうちに2単位修得しておくのが，望ましい。
- ④ 学部の説明・指導に従い，1年次に開講される「専門教育科目」（黄色/点線枠内）の授業を記入。
3年次に進級するためには「専門教育科目」を修得することが（1年次開講で，各学科が必修科目に指定する単位を含む）必要。
専門教育科目も基盤共通教育科目と同様にWEBで履修登録が必要。

2. 基盤共通教育授業時間割の右頁を確認し，次の科目を時間割作成用紙の空いている曜日・校時に記入してください。

- ① 必修の『基幹科目』の2領域（「人間を考える・共生を考える」，「山形から考える」）から1科目ずつ選択して記入。
- ② 『教養科目』
 - 『共通科目』の「健康・スポーツ（時間割左頁のスポーツ実技含む）」
 - 『共通科目』の「サイエンス・スキル」
 - 『共通科目』の「キャリアデザイン」
 - 『共通科目』の「情報科学」合計 22 単位以上
※ただし，『教養科目』については，「文化と社会」及び共通科目の「キャリアデザイン」から8単位以上。（「文化と社会」の「社会と倫理」必修科目2単位は含まない。）
- ③ 「教養科目」の「自然と科学」及び「共通科目」の「サイエンス・スキル」から6単位以上。
『共通科目』の「サイエンス・スキル」のうち，「微分積分学Ⅰ（数理科学）」，「微分積分学Ⅱ（数理科学）」及び「力学の基礎」の履修を推奨。
- ④ 以下の3.に記載されている①～③で記入した科目の単位も，当該領域の単位として含めることになります。
- ⑤ 記入した前期，後期の時間割作成用紙を再度確認し，進級条件はもとより，卒業要件を満たすように履修計画を立てることが望まれます。

3. 教育職員免許状を取得したいと思っている場合には，次の科目を記入。

- ① 時間割右頁の『教養科目』の「文化と社会」中の「日本国憲法」 2単位
- ② 時間割左頁の「スポーツ実技」及び右頁の「健康・スポーツ科学」領域各1単位以上又は「スポーツセミナー」2単位（いずれも「共通科目」）の科目 計2単位以上
（「健康・スポーツ科学」2単位のみや「スポーツ実技」2単位のみでは取得できません。）
- ③ 時間割左頁の『共通科目』の「情報科学（情報処理）」 2単位

4. 記入した時間割作成用紙を確認します。

- ① 上記の内容を満たしているか確認してください。
- ② 重複履修制限について，履修の可否を確認してください。（「4.3履修上の注意事項」22頁・23頁参照）
- ③ 進級条件（18頁参照）を満たしているか，確認してください。
- ④ 総単位数が30単位を超えていないか，確認してください。（「工学部学生便覧」参照）

工学部(建築・デザイン学科) 別表 (単位数計算表)

区分		分野名	進級に必要な 最低修得単位数	卒業に必要な 最低修得単位数	卒業要件単位数を超えた 単位の取扱い	履修予定単位数											
科目	領域					前期	後期										
導入科目	スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	2単位 (必修)	2単位 (必修)													
基幹科目	人間を考える・ 共生を考える	人間を考える	2単位 (必修)	2単位 (必修)													
		共生を考える															
	山形から考える	山形から考える	2単位 (必修)	2単位 (必修)													
教養科目	文化と社会	社会と倫理※	14単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上	20単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上													
		哲学															
		心理学															
		歴史学															
		文学															
		芸術															
		言語学															
		文化論															
		法学															
		経済学															
		社会学															
		政治学															
		地理学															
		知的財産※															
日本国憲法																	
共通科目	キャリアデザイン	キャリアデザイン	14単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上	20単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上													
		キャリア教育※															
教養科目	自然と科学	数理学						14単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上	20単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上								
		物理学															
		化学															
		生物科学															
		地球科学															
共通科目	サイエンス・スキル	数理学											14単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上	20単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上			
		物理学															
		化学															
		生物科学															
		地球科学															
		医学															
工学																	
農学																	
教養科目	応用と学際	応用 学際	14単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上	20単位以上 ■から8単位以上 △から6単位以上													
健康・スポーツ	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学															
		スポーツ実技															
		スポーツセミナー															
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語1						2単位 (必修)	4単位 (必修)								
		英語2※							2単位 (必修)								
								英語3※									
共通科目	コミュニケーション・スキル2	ドイツ語															
		フランス語															
		ロシア語															
		中国語															
		韓国語															
日本語	(留学生のみ受講可)	(留学生のみ受講可)															
情報科学	情報処理							2単位 (必修)									
探究科目	詳細は各学部の定めるところによる。																
補習科目	詳細は各学部の定めるところによる。																
※印は高学年次開講科目																	
推奨科目	『共通科目』の「サイエンス・スキル」の「微分積分学Ⅰ」と「微分積分学Ⅱ」及び「力学の基礎(物理学)」																
専門教育科目	詳細は各学部の定めるところによる。																

1カ国語4単位まで
専門教育科目の選択科目
として卒業要件に数える
ことができる。